

展示資料紹介

フラスコ形長頸瓶

清田町にある権現山古墳の石室内から出土したユニークな形の須恵器です。1400～1300年前、古墳時代後期のもので、その形からフラスコ形長頸瓶とされています。底が安定しないので実用的ではなさそうですが、この形は当時人気だったのか副葬品として主に東日本でよく見つかっています。権現山古墳でも2点出土していて、写真は猿投窯（名古屋東部～豊田西部）産、もう1つは湖西窯（豊橋東部～湖西）産です。

蒲郡が東西の窯場と交流があった事を伝える貴重な資料です。



2階歴史展示室で常設展示中です。



妖怪うちわをつくろう

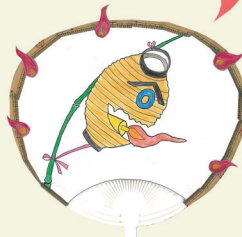
塗り絵でオリジナルうちわを作ります。

とき 6月12日(土)～7月11日(日)

ところ 1階ロビー

参加費 無料 ※申し込み不要

たくさんの妖怪がキミをまってるノダ～



館長の
ひなこいん



小林龍二

蒲郡で育ち今も蒲郡在住で、蒲郡の水族館に勤めているのは、とても幸せでありがたく、やりがいを感じているのですが、だからこそたまに困ることもあります。その1つに元カノが水族館に来る、という事例です。元カノ、すなわち前に付き合っていた彼女。これはなかなかセンチメンタルな状況です。軽快にアシカショーをやっている、ふと客席に昔付き合っていた方を発見すると一瞬にして心が「うっ」となりセリフに詰まって次の種目を忘れそうになります。その後は客席側に一切視線を向けられません。ショーを始める前に発見した場合は急きよ別のスタッフにショー担当を代わってもらうこともあります。これが良い別れ方をした方なら「がんばってるね」とか「元気だったかな」などという



いつもはしっかり客席を見えています！

た話や近況報告ができ、それなりに楽しく盛り上がり「また来てよね！」と言って笑って解決なのですが、そうではない逆の場合、館内で合ってしまったたりすると「あ、あの、げげげ、げん、元気だたか、おし、そこそ元気だ」となり、楽しい水族館が凍り付く事態となりますので早急に展示裏へ引っ込みます。飼育事務所へ逃げ帰りアタフタして他のスタッフに状況を伝えると、皆満面の笑みで館長をいじり始めるので、またまた困ってしまいます。